

令和2年度 学校経営について

鹿沼市立栗野小学校

1 学校教育目標（めざす児童像）

5つの『気』

○ よく学ぶ子



『本気』 『やる気』

目的意識をもつ。
傾聴する。
話す。
調べて考える。

○ 思いやりのある子



『和気』

「あいさつ」 ありがとう の言葉を多く伝える。
相手を尊重する。
話し合う。

あかるく いつも さきに つづけよう

○ たくましい子



『元気』 『根気』

「心と体を鍛える」 自分を大切にする。
自己有用感
体力づくり（外遊びの励行）

2 学校経営の方針

『5つの気ですてきな学校にしよう』



3 努力点と具体策

学校教育目標	努 力 点	具 体 策
(1) よく学ぶ子 	1 学級活動の充実 2 分かる授業 3 個に応じたきめ細かな指導の充実 4 学習空間の活用 5 指導の振り返り	・「聴く」、「考える」、「調べる」、「話す」の実践 ・考えの「理由」を言える。 ・学習のきまりの活用 ・自分の言葉で本時の学習の内容を述べることができる。 ・子どもたちのめあて、振り返りの重視 何が分かったか何が分からないかを明確にさせる。 ・TT 指導の実践 ・教師自身の指導・支援の振り返り →指導方法、教材・教具の改善
(2) 思いやりのある子 	1 道徳教育の充実 2 特別支援教育の充実 3 児童指導の充実	・道徳性を養う →道徳性とは道徳的行為を可能にする人格的特性 道徳の時間はもちろん各教科の指導、学級作り、人間関係づくり 教師の姿勢によって養われていく。 ・経験を通した多様な学びの場の設定 →子どもたちの能力や可能性を引き出す。 ・教員一人ひとりの資質・能力を高める。 個々の個性を理解し、それを伸張させる。
(3) たくましい子 	1 健康教育の充実 2 体験学習の充実 3 家庭との連携の充実	・子どもたちの生活習慣の把握と、適切な指導（早寝早起き朝ご飯の推進、睡眠時間等の調査、食育指導の実践 等） ・ノーマディアチャレンジデーの推奨 →親子で共有できることを実践する（趣味・スポーツ等）。 ・やり抜く心、負けない心の育成 ・あらゆる教育活動における自己のねらいを自覚する。 ・家庭学習の充実、生活習慣の見直し。